

平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月10日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6249 URL <https://www.gamecard-joyco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蒔田 穂高  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 節郎 (TEL) 03-6803-0301  
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月21日 配当支払開始予定日 平成30年6月22日  
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月21日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	16,928	△17.0	3,596	87.4	3,594	84.8	2,318	—
29年3月期	20,405	△14.6	1,919	—	1,945	—	27	—

(注) 包括利益 30年3月期 2,316百万円( -%) 29年3月期 △4百万円( -%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	162.55	—	6.0	7.2	21.2
29年3月期	1.96	—	0.1	3.7	9.4

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 -百万円 29年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	49,511	39,528	79.8	2,771.41
29年3月期	50,648	37,853	74.7	2,654.00

(参考) 自己資本 30年3月期 39,528百万円 29年3月期 37,853百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	3,466	△6,008	△828	14,105
29年3月期	2,264	1,381	△699	17,476

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	427	—	1.1
30年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00	499	21.5	1.3
31年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00		62.4	

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,200	△16.1	1,200	△66.6	1,200	△66.6	800	△65.5	56.09

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

30年3月期	14,263,000株	29年3月期	14,263,000株
30年3月期	121株	29年3月期	121株
30年3月期	14,262,879株	29年3月期	14,262,879株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	754	62.9	183	327.1	184	329.9	114	481.2
29年3月期	463	△68.9	42	△95.9	42	△95.9	19	△98.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期	8.01		—					
29年3月期	1.38		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
30年3月期	37,921	37,732	37,732	37,732	99.5	2,645.52	2,645.52	
29年3月期	38,400	38,260	38,260	38,260	99.6	2,682.51	2,682.51	

(参考) 自己資本 30年3月期 37,732百万円 29年3月期 38,260百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、平成30年5月18日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済環境は、海外経済が穏やかな成長を続けるもとで、きわめて緩和的な金融環境と政府の既往の経済政策による下支えなどを背景に、継続的に拡大基調で推移してきた一方で、米国の経済政策運営やそれが国際金融市場に及ぼす影響、英国のEU離脱交渉の展開やその影響など地政学的リスクもあり、依然として不透明感も払拭できない状況が続いていると考えております。

当社の主な顧客先であるパチンコホールにおいても、足元でIR推進法に伴う「のめり込み防止」の検討や風営法改正により先行き不透明な状況にある中、一部には競争力の維持・向上を企図した大手・中堅企業による積極的なM&A或いは、関東や近畿などの商圏人口の多い都市部に店舗を続けていますが、①射幸性の高い遊技機に対する規制強化②スマートフォンの普及を背景とするモバイルゲーム等の台頭による客離れ③低玉貸店舗の増加に伴う消費単価の下落などが続き、市場規模は縮小傾向で推移していると考えております。

このような状況下で当社グループでは「構造改革の完成とその効果の最大化」を目的として①事業のスリム化（商品とサービスの選択と集中）②財務のスリム化（在庫と債権のリアルタイム管理）③業務のスリム化（効率とスピード重視の新体制）を柱とした課題を設定し取り組んだ結果、営業利益以下の各段階利益は以下のとおり大きく上回ることが出来ました。

当連結会計年度における売上高は16,928百万円（前年同期比17.0%減）となった一方、営業利益は3,596百万円（前年同期比87.4%増）、経常利益は3,594百万円（前年同期比84.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,318百万円（前年同期比—）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は以下のとおりとなっております。

#### (資産)

当連結会計年度末の総資産は49,511百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,136百万円減少いたしました。

これは主に、無形固定資産及び長期前払費用が減価償却したことで687百万円、また過年度に発生した研究開発などで生じていた一時差異の解消により繰延税金資産が503百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

負債合計は9,983百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,811百万円減少いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金が685百万円、固定負債リース債務が690百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は39,528百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,674百万円増加いたしました。

主な増加要因は、利益剰余金1,676百万円の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比べて3,371百万円減少し14,105百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3,466百万円の増加(前年同期比1,202百万円の増加)となりました。主な増減要因は、税金等調整前当期純利益3,588百万円、減価償却費799百万円及び売上債権の減少額756百万円の増加、希望退職関連費用の支払額849百万円の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは6,008百万円の減少(前年同期比7,390百万円の減少)となりました。主な減少要因は構造改革の結果、手元資金に余裕が出来たこと等により、運用資金に5,899百万円を回したことであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは828百万円の減少(前年同期比129百万円の減少)となりました。減少要因は配当金の支払額641百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出187百万円であります。

(4) 今後の見通し

当社の主な顧客先であるパチンコホールにおける経営環境は、社会的な趨勢に押されながら変化の起点が見られない状況が今しばらく継続する可能性が高いと考えております。そのためパチンコホール数の減少、消費単価の減少、規制の厳格化などから周辺設備への投資意欲も暫し限定されるものと想定し弊社の売上高も厳しい状況になると予想しておりますが、いま遊技業界に求められている「のめり込み防止」などの社会的なニーズを的確につかみ業界の再活性化にむけた研究開発活動への投資を実行する段階にあると考えており、来期の業績予想は次のとおりと予想します。

売上高14,200百万円(前年同期比2,728百万円減)、営業利益1,200百万円(前年同期比2,396百万円減)、経常利益1,200百万円(前年同期比2,394百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円(前年同期比1,518百万円減)を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。現在、当社グループの事業展開は日本国内に限定されており、また、海外市場での資金調達を予定していないことなどから、現時点においては、日本基準以外の会計基準の選択には迫られていないものと判断しており、当面は日本基準を適用する予定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,476	9,105
受取手形及び売掛金	1,966	1,261
営業未収入金	643	570
リース投資資産	2,931	1,768
有価証券	3,999	16,895
供託金	2,608	8,542
発行保証金信託	5,774	—
商品及び製品	1,464	1,134
原材料及び貯蔵品	283	226
繰延税金資産	350	120
その他	523	413
貸倒引当金	△6	△1
流動資産合計	40,015	40,038
固定資産		
有形固定資産		
その他	6,079	5,085
減価償却累計額	△5,609	△4,711
その他(純額)	469	373
有形固定資産合計	469	373
無形固定資産		
ソフトウェア	3,108	2,579
その他	79	39
無形固定資産合計	3,188	2,619
投資その他の資産		
投資有価証券	5,608	5,550
繰延税金資産	645	372
その他	836	634
貸倒引当金	△115	△76
投資その他の資産合計	6,975	6,480
固定資産合計	10,633	9,473
資産合計	50,648	49,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,019	1,334
営業未払金	11	8
リース債務	1,524	957
賞与引当金	130	128
株主優待引当金	33	33
カード未精算勘定	2,335	2,143
その他	1,876	1,582
流動負債合計	7,932	6,188
固定負債		
リース債務	1,722	1,032
役員退職慰労引当金	101	75
退職給付に係る負債	543	360
その他	2,495	2,326
固定負債合計	4,862	3,795
負債合計	12,795	9,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,122	5,122
利益剰余金	27,208	28,884
自己株式	△0	△0
株主資本合計	37,830	39,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	21
その他の包括利益累計額合計	23	21
純資産合計	37,853	39,528
負債純資産合計	50,648	49,511

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	20,405	16,928
売上原価	12,155	9,057
売上総利益	8,250	7,871
販売費及び一般管理費	6,331	4,274
営業利益	1,919	3,596
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	16	17
貸倒引当金戻入額	39	12
貸与資産修繕収入	14	8
その他	21	10
営業外収益合計	105	62
営業外費用		
支払利息	17	13
支払保証料	43	43
固定資産除却損	13	6
その他	5	1
営業外費用合計	79	64
経常利益	1,945	3,594
特別損失		
減損損失	437	5
希望退職関連費用	850	—
特別損失合計	1,288	5
税金等調整前当期純利益	656	3,588
法人税、住民税及び事業税	301	766
法人税等調整額	327	503
法人税等合計	628	1,270
当期純利益	27	2,318
親会社株主に帰属する当期純利益	27	2,318



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	27	2,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△2
その他の包括利益合計	△32	△2
包括利益	△4	2,316
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△4	2,316

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	5,500	5,122	27,608	△0	38,230	55	55	38,285
当期変動額								
剰余金の配当			△427		△427			△427
親会社株主に帰属する 当期純利益			27		27			27
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△32	△32	△32
当期変動額合計	—	—	△399	—	△399	△32	△32	△432
当期末残高	5,500	5,122	27,208	△0	37,830	23	23	37,853

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	5,500	5,122	27,208	△0	37,830	23	23	37,853
当期変動額								
剰余金の配当			△641		△641			△641
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,318		2,318			2,318
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△2	△2	△2
当期変動額合計	—	—	1,676	—	1,676	△2	△2	1,674
当期末残高	5,500	5,122	28,884	△0	39,506	21	21	39,528

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	656	3,588
減価償却費	948	799
のれん償却額	391	78
長期前払費用償却額	140	143
差入保証金償却額	47	8
固定資産除却損	13	6
減損損失	437	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△88	△37
製品取替引当金の増減額 (△は減少)	△52	—
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	4	—
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△81	△27
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	61	△182
受取利息及び受取配当金	△30	△31
支払利息	61	56
売上債権の増減額 (△は増加)	762	756
たな卸資産の増減額 (△は増加)	690	360
仕入債務の増減額 (△は減少)	△397	△676
カード未精算勘定の増減額 (△は減少)	△195	△191
未収入金の増減額 (△は増加)	△2	△27
未払金の増減額 (△は減少)	△1,504	364
長期預り金の増減額 (△は減少)	△208	△168
預り金の増減額 (△は減少)	△3	△0
その他	214	21
小計	1,865	4,847
利息及び配当金の受取額	172	19
利息の支払額	△61	△56
希望退職関連費用の支払額	—	△849
法人税等の支払額	△50	△494
法人税等の還付額	337	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,264	3,466
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,000	△3,000
定期預金の払戻による収入	—	5,000
有価証券の取得による支出	△7,999	△44,199
有価証券の償還による収入	14,000	36,300
供託金の預入による支出	△2,608	△5,933
発行保証金信託の解約による収入	1,420	5,776
有形固定資産の取得による支出	△89	△56
無形固定資産の取得による支出	△2,169	△61
投資有価証券の償還による収入	1,000	—
資産除去債務の履行による支出	△13	△60
差入保証金の差入による支出	△205	△1
差入保証金の回収による収入	62	224
長期前払費用の取得による支出	△19	△3
その他	4	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,381	△6,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△427	△641
ファイナンス・リース債務の返済 による支出	△271	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△699	△828
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,946	△3,371
現金及び現金同等物の期首残高	14,530	17,476
現金及び現金同等物の期末残高	17,476	14,105

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは、パチンコプリペイドカードシステム関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,771円41銭
1株当たり当期純利益	162円55銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,318
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,318
普通株主の期中平均株式数(株)	14,262,879

(重要な後発事象)

該当事項はありません。